

平成23年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,441億円余
2. 前年同月比	-1.3% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.5%(90.6%) : 非店頭-8.6%(9.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	919,001㎡ (前年同月比:-1.6%)
6. 総従業員数	19,283人 (前年同月比:-7.6%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、 3-5月 -10.7%、4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%

[参考] 平成22年7月の売上高増減率は-1.7%

【7月売上の特徴】

- (1) 都内の商況は台風6号を境に大きく転換したが、特に入店客数については、下旬からの天候不順の影響を受けて、各店共に前年同月比で概ね3%~4%の減少であった。
- (2) 東京地区でも高額品が好調に推移した。富裕層における購買意欲の回復やブライダル需要の高まりを背景に、婦人アクセサリ、宝飾・貴金属、高級時計などがよく動いた。
- (3) 都内の中元商戦は、全国の傾向と同様に、滑り出し好調に推移した前半戦の勢いを持続出来なかったが、6月~7月の期間合計ではほぼ前年並みの結果となった。
- (4) 半袖ワイシャツを中心にクールビズ関連商材は引き続き好調であったが、その反面、スーツやジャケットなどの重衣料は低調であった。
- (5) 夏の季節商材である浴衣(ゆかた)は、都内及び近郊で開催される花火大会など地域行事の相次ぐ中止・延期の影響を受けて、やや苦戦を強いられた。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比-0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 3店、②変化なし: 3店、③減少した: 13店、④不明: 2店
- (3) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)
①増加した: 2店、②変化なし: 6店、③減少した: 4店、④不明: 9店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 9店、③減少する: 6店、④不明: 4店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年07月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	144,156,883	100.0	-1.3 (-1.8)
紳士服・洋品	10,957,527	7.6	0.4 (0.2)
婦人服・洋品	30,538,867	21.2	-2.5 (-4.3)
子供服・洋品	2,349,668	1.6	-1.1 (-1.1)
その他衣料品	2,869,137	2.0	-15.1 (-15.2)
衣 料 品	46,715,199	32.4	-2.7 (-3.9)
身のまわり品	19,408,938	13.5	2.0 (0.3)
化粧品	6,672,796	4.6	1.1 (-1.3)
美術・宝飾・貴金属	6,827,222	4.7	7.4
その他雑貨	6,562,018	4.6	-2.2 (-2.5)
雑 貨	20,062,036	13.9	2.0 (1.1)
家 具	2,165,605	1.5	-6.1 (-6.3)
家 電	635,700	0.4	4.0
その他家庭用品	4,979,672	3.5	4.2 (4.2)
家 庭 用 品	7,780,977	5.4	1.1 (1.1)
生 鮮 食 品	6,408,991	4.4	-0.5 (1.5)
菓 子	10,382,447	7.2	-2.9 (-2.1)
惣 菜	7,371,473	5.1	-0.4 (0.9)
その他食料品	16,833,953	11.7	-3.2 (-2.6)
食 料 品	40,996,864	28.4	-2.2 (-1.2)
食 堂 喫 茶	3,779,672	2.6	9.6 (9.0)
サ ー ビ ス	2,030,283	1.4	-6.8 (-10.7)
そ の 他	3,382,914	2.3	-17.1 (-17.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

※

商 品 券	6,811,487 千円	-19.6 (-19.8)
従 業 員 数	19,283 人	-7.6
店 舗 面 積	919,001 m ²	-1.6

営 業 日 数	30.6 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続、身のまわり品と雑貨が5か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、食料品。また、紳士服・洋品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品が2か月連続、家電が2か月ぶり、化粧品が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.3	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	0.4	0.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.5	-0.5	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.1	-0.3	39か月連続マイナス
衣料品	-2.7	-0.9	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	2.0	0.3	5か月ぶりプラス
化粧品	1.1	0.0	5か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	7.4	0.3	2か月連続プラス*
その他雑貨	-2.2	-0.1	38か月連続マイナス*
雑貨	2.0	0.3	5か月ぶりプラス
家具	-6.1	-0.1	4か月連続マイナス
家電	4.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	4.2	0.1	2か月連続プラス
家庭用品	1.1	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	-0.5	0.0	4か月ぶりマイナス*
菓子	-2.9	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-0.4	0.0	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-3.2	-0.4	6か月連続マイナス*
食料品	-2.2	-0.6	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	9.6	0.2	2か月連続プラス
サービス	-6.8	-0.1	2か月連続マイナス
その他	-17.1	-0.5	2か月ぶりマイナス
商品券	-19.6	-1.1	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>